

2012年度 早稲田大学 教育学部

日本史 解答例

I 古代の病気や災害 <標準>

問1 山背(国) 問2 早良(親王) 問3 オ 問4 イ

問5 オ 問6 イ 問7 イ 問8 ア

問1は「山城」では不正解。平安京遷都のタイミングで「山背」から「山城」に改められている。2004年の早稲田大学文学部でも出題されていた問題。難問は問3。早稲田では意外と天皇家の血縁関係が問われているが、さすがにこれは難しいだろう。出題率的に言うと、問7・8が「やや難」問題。ただし「高野新笠」は、近年出題を見かけるようになった人物。

II 中世の農業生産 <やや易>

問1 オ 問2 エ 問3 イ 問4 ウ 問5 オ 問6 草木灰 問7 刈敷

難問は問1。国語で時期を詳しく学習していれば別だが、受験日本史では平安文学作品については成立順を意識するくらいでかまわない。史料は1・2ともに未見史料だが、読解すればなんとか解ける。

III 大塩平八郎の檄文 <やや易>

問1 洗心洞 問2 河 問3 戊戌封事 問4 ウ 問5 エ

問6 エ 問7 ウ 問8 ア 問9 ウ・キ 問10 イ・エ

問3の「戊戌封事」は、前日に行われたばかりの人間科学部入試で史料問題が出されたばかりだった。連日で受験した人は、答え合わせをした際にこの言葉を見かけていて思い出しやすかっただろう。問5は、史料を読解して推測で解けたらすばらしいが、難問と言ってもかまわない。いっぽう同じ読解問題でも、問10はなんとか正解してほしい。問9は教育学部でよく見かける「すべて選べ」問題。悩まされることも多い形式だが、今回は容易に解けるレベルであった。

Ⅳ 近代の国民教化 <やや易>

問1 神仏分離令 問2 地方改良運動 問3 国民精神総動員運動

問4 イ 問5 オ 問6 ウ

史料E以外は、見かけたことのない未見史料だっただろう。わずかなキーワードをたよりに判別していこう。問2・4・6あたりで点差がついたのではないだろうか。史料Cを判別するためのヒントは、史料文中にもわずかにあるが、むしろ問2の設問文にある。それがわかれば問6が解けるというしくみになっている。また、問4はヒントが少ないため難しかっただろう。「和歌山県」から素直に解いてほしい。

Ⅴ 戦後の経済 <やや易>

問1 もはや戦後ではない 問2 白黒テレビ、(電気)洗濯機、(電気)冷蔵庫

問3 ウ 問4 イ 問5 ア・オ 問6 ウ

問2の「白黒テレビ」は「テレビ」だけでも正解の可能性はあるが、三種の神器と対比される「3C」にはカラーテレビが登場する。それを合わせて考えると、「白黒テレビ」と表記したほうが無難だろうと思われる。問4・5は早稲田でよく出題される、戦後史のできごとの時期や順序を問う問題。問4は非常に簡単だが、問5は難問であった。

講評

教育学部の問題は、年によっては非常に難しく作られていることがあるが、今年はそのでもなくて解きやすかった。Ⅳでは未見史料が多く出されたが、Ⅲでは大変有名な史料問題が出されている。史料中の空欄穴埋め問題は、史料対策をしていたか否かで点差がついただろう。史料の丸暗記ではなく、史料文の意味を理解しながらキーワードをチェックする学習をしておきたい。そのときについた力が、未見史料問題を解く際に役立つのである。早稲田予備校には史料対策を行うための単科講座として、「でるとこ日本史プラス」という講座が設けられている。